

50周年記念誌編集について

緑友

全国印刷緑友会
http://www.greenfriend.jp/

〈今後の行事予定〉
2008年9月13日(土)
第50回
全国印刷緑友会 岐阜大会

発行: 全国印刷緑友会
責任者: Y-ING 常務幹事 井上雅博
編集人: Y-ING 常務幹事 齊藤理

FAX不要な方はこちらへご連絡下さい
masatomo@kobundo.net

全国印刷緑友会五十周年誌 道程Ⅲ(仮)編集委員会報告

全国印刷緑友会五十周年誌「道程Ⅲ(仮)」編集委員会より、会員の皆様にご報告とお願いを申し上げます。

当会として、三冊目となる記念誌は、四十周年記念誌「道程Ⅱ」以降の、十年間をまとめることにも、「緑友会、印刷業界、我が社」の未来」を、出来るだけ大勢の会員から、原稿

第1回常任幹事会・編集委員会に参加して

福岡印刷若葉会

貞末 宏治郎



全国印刷緑友会会員の皆様、こんにちは。福岡印刷若葉会の貞末です。

この度は、緑友会五十周年記念誌編集委員会および常任幹事会のため福岡にお越しくださいまして有難うございました。

若葉会は五月に新

今回設営致しました。編集会議から出席致しましたが、皆様方の記念誌や今後の業界、緑友会に対する熱い思い、またイベントを有意義なものにし、成功させようという熱い思いを実感すると共に、大変刺激を受けました。

待や、「やはり九州では福岡が元気でないとね」という意見を頂戴し、大変有難く思っております。現在若葉会は、業界のことは勿論、経営者としての勉強会を毎月行なっております。

皆様がそれぞれのグループの活動をお聞きし、今後の若葉会活動の参考にさせていただきますたいと思っております。若葉会の活動を全国の皆様に発信し、業界を盛り上げる一端を担えればと思っております。

今後、緑友会の各種イベント活動等でお顔を合わせる機会も多くなるかと思っておりますが、宜しくお願い致します。

若葉会は五月に新

体制となり、それに際しまして私が緑友会担当をすることとなりました。

今度九州沖縄印刷人大会には参加しておりますが、全国的な緑友会イベントの参加は神奈川総会が初めてでした。

情により、前任の緑友会担当との引継ぎもできず、何も分からないまま神奈川総会に参加したところ、次回常任幹事会は福岡で行なう旨をお聞きしまして

介を各グループ長より、また、「緑友会、印刷業界、我が社」の未来」はすべての会員に、自由に投稿していただければ幸いです。

要領は、下記(※)の通りです。

記念誌の構成

はじめに
巻頭の挨拶
岩重会長
1 歴代会長座談会(取材済み)
2 中村守利氏

「緑友会 50周年にむけて(仮)」インタビュー(取材済み)
3 藤田弘道氏
元凸版印刷社長
インタビュー
(現在交渉中)
4 歴代会長より寄稿
五名分(別途依頼)
5 全32グループより
「緑友の仲間」
(直近メンバーの写真
(直近メンバーの写真を
紹介文)
【12000字程度+
メンバーの集合写真】
6 自由投稿「緑友会、
印刷業界、我が社」
の未来」(過去、現在
を踏まえて)
【6000字程度】

なお、次の他団体代表者様より寄稿していただくよう、お声掛けしております。

【全員工連理事長:水上光弘氏/全国青年印刷人協議会議長:白田真人氏/JCメディア協議会会長/社団法人日本グラフィックサービス工業会/複写連会長】

※
www3.somand.co.jp/gf/ にアクセス。
左にあるメニューから「記念誌編集部」をクリック。
左のスペースで投稿コーナーを選んでクリック。
中央のスペース上部の「EDIT」をクリックして投稿フォームへ。
※所定の欄に記入後、「公開」をチェックして「投稿」してください。

今後の予定
9月13日(土) 5「緑友の仲間」、原稿締め切り。
9月14日(日) グループ長会議で、経過報告。その後の編集委員会、今後の予定を決定する。
10月1日(水) 6「緑友会印刷業界、我が社」の未来」、第二次原稿締め切り。
11月1日(土) 常任幹事会、途中経過の報告。これまでに、1・2・3のテキスト校正を終了。
12月1日(月) 6の原稿受け付け締め切り。
2009年1月1日までに、編集会議を開き、原稿の確定。
2月14日(土) ころ、名古屋セミナーのグループ長会議、編集委員会、初校。
3月中旬 最終校正。
4月下旬 下版。
5月23日(土) 納品配布。

「緑友会 50周年にむけて(仮)」インタビュー(取材済み)
3 藤田弘道氏
元凸版印刷社長
インタビュー
(現在交渉中)
4 歴代会長より寄稿
五名分(別途依頼)
5 全32グループより
「緑友の仲間」
(直近メンバーの写真
(直近メンバーの写真を
紹介文)
【12000字程度+
メンバーの集合写真】
6 自由投稿「緑友会、
印刷業界、我が社」
の未来」(過去、現在
を踏まえて)
【6000字程度】

なお、次の他団体代表者様より寄稿していただくよう、お声掛けしております。

【全員工連理事長:水上光弘氏/全国青年印刷人協議会議長:白田真人氏/JCメディア協議会会長/社団法人日本グラフィックサービス工業会/複写連会長】

※
www3.somand.co.jp/gf/ にアクセス。
左にあるメニューから「記念誌編集部」をクリック。
左のスペースで投稿コーナーを選んでクリック。
中央のスペース上部の「EDIT」をクリックして投稿フォームへ。
※所定の欄に記入後、「公開」をチェックして「投稿」してください。

今後の予定
9月13日(土) 5「緑友の仲間」、原稿締め切り。
9月14日(日) グループ長会議で、経過報告。その後の編集委員会、今後の予定を決定する。
10月1日(水) 6「緑友会印刷業界、我が社」の未来」、第二次原稿締め切り。
11月1日(土) 常任幹事会、途中経過の報告。これまでに、1・2・3のテキスト校正を終了。
12月1日(月) 6の原稿受け付け締め切り。
2009年1月1日までに、編集会議を開き、原稿の確定。
2月14日(土) ころ、名古屋セミナーのグループ長会議、編集委員会、初校。
3月中旬 最終校正。
4月下旬 下版。
5月23日(土) 納品配布。

「緑友会 50周年にむけて(仮)」インタビュー(取材済み)
3 藤田弘道氏
元凸版印刷社長
インタビュー
(現在交渉中)
4 歴代会長より寄稿
五名分(別途依頼)
5 全32グループより
「緑友の仲間」
(直近メンバーの写真
(直近メンバーの写真を
紹介文)
【12000字程度+
メンバーの集合写真】
6 自由投稿「緑友会、
印刷業界、我が社」
の未来」(過去、現在
を踏まえて)
【6000字程度】

なお、次の他団体代表者様より寄稿していただくよう、お声掛けしております。

【全員工連理事長:水上光弘氏/全国青年印刷人協議会議長:白田真人氏/JCメディア協議会会長/社団法人日本グラフィックサービス工業会/複写連会長】

※
www3.somand.co.jp/gf/ にアクセス。
左にあるメニューから「記念誌編集部」をクリック。
左のスペースで投稿コーナーを選んでクリック。
中央のスペース上部の「EDIT」をクリックして投稿フォームへ。
※所定の欄に記入後、「公開」をチェックして「投稿」してください。

今後の予定
9月13日(土) 5「緑友の仲間」、原稿締め切り。
9月14日(日) グループ長会議で、経過報告。その後の編集委員会、今後の予定を決定する。
10月1日(水) 6「緑友会印刷業界、我が社」の未来」、第二次原稿締め切り。
11月1日(土) 常任幹事会、途中経過の報告。これまでに、1・2・3のテキスト校正を終了。
12月1日(月) 6の原稿受け付け締め切り。
2009年1月1日までに、編集会議を開き、原稿の確定。
2月14日(土) ころ、名古屋セミナーのグループ長会議、編集委員会、初校。
3月中旬 最終校正。
4月下旬 下版。
5月23日(土) 納品配布。

「緑友会 50周年にむけて(仮)」インタビュー(取材済み)
3 藤田弘道氏
元凸版印刷社長
インタビュー
(現在交渉中)
4 歴代会長より寄稿
五名分(別途依頼)
5 全32グループより
「緑友の仲間」
(直近メンバーの写真
(直近メンバーの写真を
紹介文)
【12000字程度+
メンバーの集合写真】
6 自由投稿「緑友会、
印刷業界、我が社」
の未来」(過去、現在
を踏まえて)
【6000字程度】

なお、次の他団体代表者様より寄稿していただくよう、お声掛けしております。

【全員工連理事長:水上光弘氏/全国青年印刷人協議会議長:白田真人氏/JCメディア協議会会長/社団法人日本グラフィックサービス工業会/複写連会長】

※
www3.somand.co.jp/gf/ にアクセス。
左にあるメニューから「記念誌編集部」をクリック。
左のスペースで投稿コーナーを選んでクリック。
中央のスペース上部の「EDIT」をクリックして投稿フォームへ。
※所定の欄に記入後、「公開」をチェックして「投稿」してください。

今後の予定
9月13日(土) 5「緑友の仲間」、原稿締め切り。
9月14日(日) グループ長会議で、経過報告。その後の編集委員会、今後の予定を決定する。
10月1日(水) 6「緑友会印刷業界、我が社」の未来」、第二次原稿締め切り。
11月1日(土) 常任幹事会、途中経過の報告。これまでに、1・2・3のテキスト校正を終了。
12月1日(月) 6の原稿受け付け締め切り。
2009年1月1日までに、編集会議を開き、原稿の確定。
2月14日(土) ころ、名古屋セミナーのグループ長会議、編集委員会、初校。
3月中旬 最終校正。
4月下旬 下版。
5月23日(土) 納品配布。

「緑友会 50周年にむけて(仮)」インタビュー(取材済み)
3 藤田弘道氏
元凸版印刷社長
インタビュー
(現在交渉中)
4 歴代会長より寄稿
五名分(別途依頼)
5 全32グループより
「緑友の仲間」
(直近メンバーの写真
(直近メンバーの写真を
紹介文)
【12000字程度+
メンバーの集合写真】
6 自由投稿「緑友会、
印刷業界、我が社」
の未来」(過去、現在
を踏まえて)
【6000字程度】

なお、次の他団体代表者様より寄稿していただくよう、お声掛けしております。

【全員工連理事長:水上光弘氏/全国青年印刷人協議会議長:白田真人氏/JCメディア協議会会長/社団法人日本グラフィックサービス工業会/複写連会長】

※
www3.somand.co.jp/gf/ にアクセス。
左にあるメニューから「記念誌編集部」をクリック。
左のスペースで投稿コーナーを選んでクリック。
中央のスペース上部の「EDIT」をクリックして投稿フォームへ。
※所定の欄に記入後、「公開」をチェックして「投稿」してください。

今後の予定
9月13日(土) 5「緑友の仲間」、原稿締め切り。
9月14日(日) グループ長会議で、経過報告。その後の編集委員会、今後の予定を決定する。
10月1日(水) 6「緑友会印刷業界、我が社」の未来」、第二次原稿締め切り。
11月1日(土) 常任幹事会、途中経過の報告。これまでに、1・2・3のテキスト校正を終了。
12月1日(月) 6の原稿受け付け締め切り。
2009年1月1日までに、編集会議を開き、原稿の確定。
2月14日(土) ころ、名古屋セミナーのグループ長会議、編集委員会、初校。
3月中旬 最終校正。
4月下旬 下版。
5月23日(土) 納品配布。

私と緑友会

全国印刷緑友会 常任幹事 伊藤 博
(長野青年印刷人緑友会)



全国常任幹事を永きに亘り務められ、「長野の顔」として全国印刷緑友会に貢献された当会OBの竹内隆文さんが去る7月16日、急逝されました。当会を45歳定年で卒業されて間もない48歳という若さでした。

最近では、3年前の平成17年第48回全国印刷緑友会長野総会の実行委員長を務められておりますので、全国の皆様の中でもご記憶にある方も多いかと思われます。

竹内さんは、20代前半から当会に入会され若くから要職を歴任され、卓越したリーダーシップを如何なく発揮されました。その立ち回りは長身でスマートな竹内さんの体型どおり。何をやってもソツなくこなす方でした。私にとっては、本当に見習うべきことが多く目標としていた先輩でもありました。

当会は昨年50周年を迎えましたが、竹内さんは確実にその50年の歴史の一時代を築かれ、長野緑友会の伝統を継承されました。このたび「50周年記念誌」を発刊いたしました。竹内さんの活躍は中でも数多く確認することができます。

何かと厳しい環境にある我々印刷業界。そんな中で今後も活躍が大いに期待されていた竹内さんを失った当会メンバーのショックはたいへん大きいものがありますが、落ち込んでいるばかりでは状況は何も変わりません。50周年記念式典のサブタイトルともなった『「緑友の精神」を胸に印刷の未来を見据えて』をここで再確認し、緑友メンバー同士で切磋琢磨し合い、新たなことにチャレンジしながら、印刷産業の未来を切り切り拓いていきたいと思っております。

全国の皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

日々是好日。

「お客様のためにお応えして、満足いただける品をこしらえる」それが職人。ものづくりを志すもの、すべてにとつて、大切な心だ。五十周年誌に託してお客様は、今、この時に、一緒にいる先輩や仲間と、見ることもない、我々の意志を継いでくれる、後輩たち。出来るだけ、大勢の方の声を頂いて、勇気を持って、当たり前のことを、当たり前に伝えて行きたいものだ。

「お客様のためにお応えして、満足いただける品をこしらえる」それが職人。ものづくりを志すもの、すべてにとつて、大切な心だ。五十周年誌に託してお客様は、今、この時に、一緒にいる先輩や仲間と、見ることもない、我々の意志を継いでくれる、後輩たち。出来るだけ、大勢の方の声を頂いて、勇気を持って、当たり前のことを、当たり前に伝えて行きたいものだ。

「お客様のためにお応えして、満足いただける品をこしらえる」それが職人。ものづくりを志すもの、すべてにとつて、大切な心だ。五十周年誌に託してお客様は、今、この時に、一緒にいる先輩や仲間と、見ることもない、我々の意志を継いでくれる、後輩たち。出来るだけ、大勢の方の声を頂いて、勇気を持って、当たり前のことを、当たり前に伝えて行きたいものだ。

「お客様のためにお応えして、満足いただける品をこしらえる」それが職人。ものづくりを志すもの、すべてにとつて、大切な心だ。五十周年誌に託してお客様は、今、この時に、一緒にいる先輩や仲間と、見ることもない、我々の意志を継いでくれる、後輩たち。出来るだけ、大勢の方の声を頂いて、勇気を持って、当たり前のことを、当たり前に伝えて行きたいものだ。

編集後記

(徹熊)